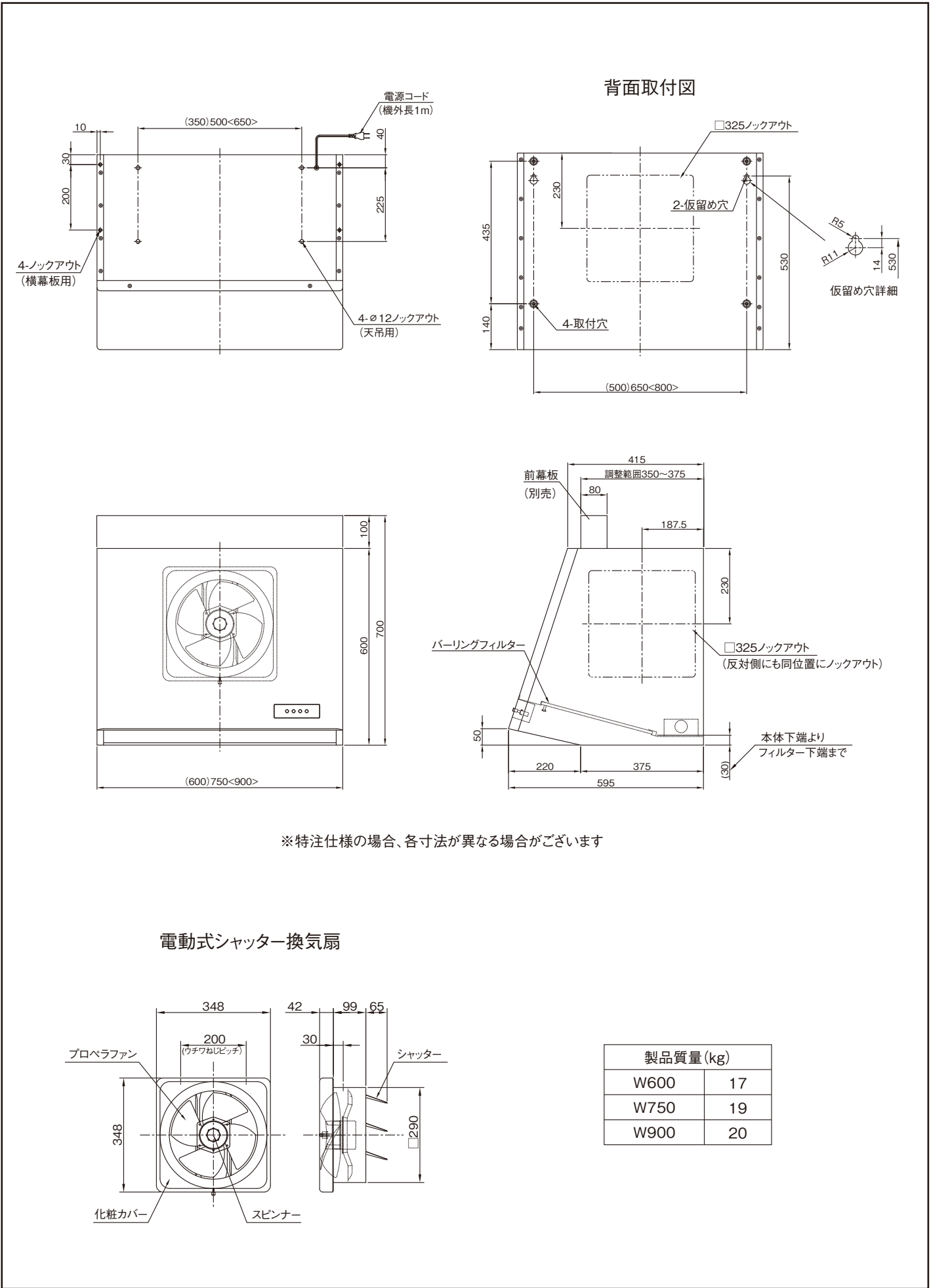


9 外観寸法図（取付寸法図）



10 電気配線

● 修理技術者以外は、絶対に分解したり修理・改造しないこと
発火・感電したり、異常作動してけがをすることがあります。

● 交流100V以外では使用しないこと
火災・感電の原因になります。

● 配線の接続は、「電気設備技術基準」や「内線規定」に従って安全・確実に行うこと
誤った配線工事は感電や火災のおそれがあります。

1. コンセントは125V、15Aのものを設置してください。
2. 電源プラグをコンセントに差し込みます。

11 試運転

注意

● 運転中は危険ですから羽根の中に指や物を入れないこと
けがをしたり、故障の原因となります。

接触禁止

1 本体の各操作スイッチを押し、運転状態を確認してください。スイッチの操作、運転状態等については取扱説明書をご覧ください。

2 運転時、各速調の排気が正しく行われていること。

3 屋外の排気出口から排気されていることを確認してください。

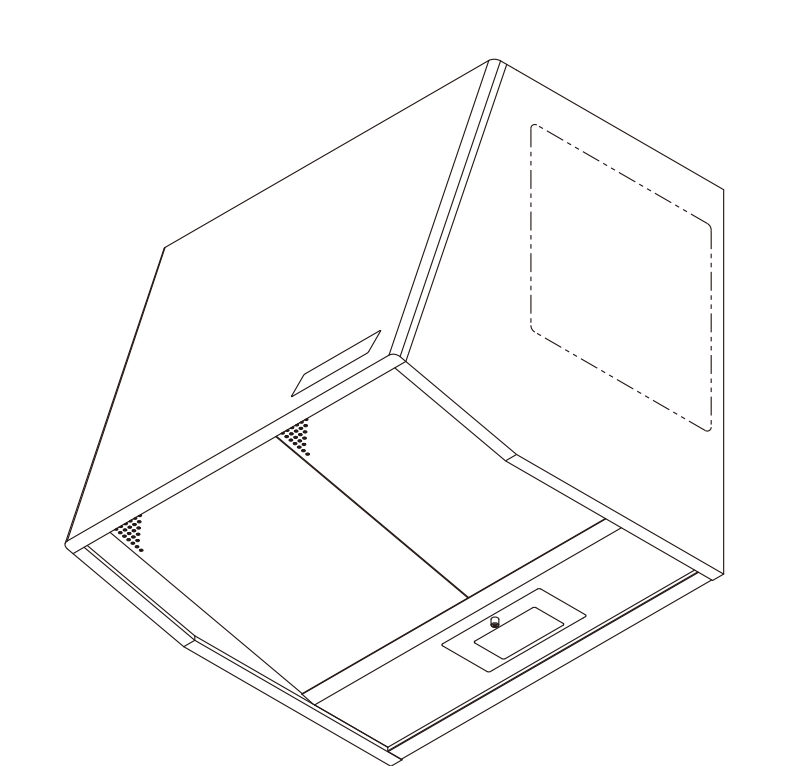
4 取付け又は設置上に発生した不具合で修理を依頼されますと全て有料となりますので十分確認してください。

12 お客様への説明

- 1 取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。

2 取扱説明書と共に、この取付・設置説明書を必ずお客様へお渡しください。

取付・設置説明書
プロペラ換気扇フード
(プロペラファン)



- 取り付けの前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しく取り付けを行ってください。

● ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

本文中に使われている図記号の意味は次のとおりです。

	「禁止」事項
	指示に従う
	分解・修理・改造禁止
	接触禁止
	電源プラグを抜く
	水場での使用禁止

安全のため必ずお守りください
(WEP)

安全に使用していただくための重要な項目ですので必ずお読みください。

- ここに示した事項は、安全に関する重大な内容の記載です。表示と意味は次のようになっています。

警告 誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。

注意 誤った取り扱いをしたときに、傷害を負う危険または物的損害に結び付く可能性があるもの。

警告

修理分解はしない

●修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理改造は行わないでください。
発火・感電したり、異常作動してけがをする恐れがあります。

お手入れは「切」にしてから

●お手入れや電球の交換の際は、必ず電源プラグを抜く、または分電盤のブレーカーを切って行ってください。(分電盤のブレーカーを切る場合は、他機器の電源も切れるおそれがあります。)ぬれた手で触らないでください。感電や、けがの恐れがあります。

水・洗剤等の液体につけたり、かけたりしない

●水・洗剤等の液体につけたりかけたりしないでください。
ショート・感電や火災の恐れがあります。

交流100V以外では使用しないこと

●火災の原因になります。

注意

調理中や運転中に部品をはずさない

●調理中や運転中に、パーリングフィルター及び周辺の部品等をはずそうとしないでください。
落下によりけがをする恐れがあります。

部品を扱うときは厚手の手袋使用

●部品を取りはずすときや、洗うときは必ず厚手の手袋を着用してください。
金属端面などでけがをする恐れがあります。

運転中は指や物を入れない

●運転中は危険ですから、レンジフード本体の中に指や物を入れないでください。
けがの恐れがあります。

レンジフードにのらない

●レンジフードにのったり、ぶら下がることはやめてください。
落下によりけがをする恐れがあります。

部品の取り付けは確実に

●部品の取り付けは確実に行ってください。
落下によりけがをする恐れがあります。

電源プラグは確実に差し込む

●電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。
火災の原因になります。

電源コードを傷めない

●電源プラグを抜くときは、電源コードを持って引き抜かないでください。
電源コードが断線し、火災の原因になります。

電源プラグのお手入れを

●定期的に電源プラグを抜き、電源プラグのほこり等を除去してください。
湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。

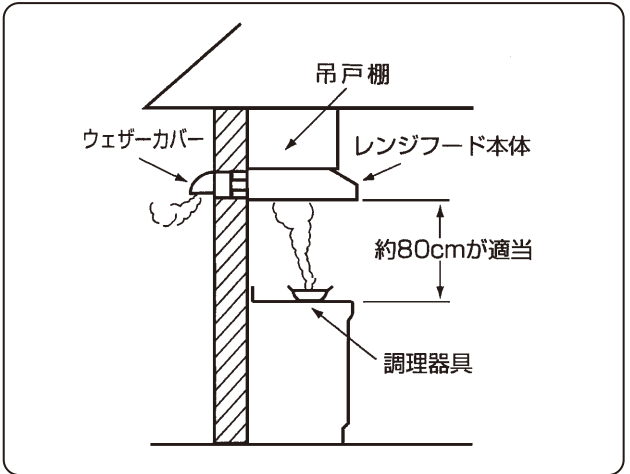
図1

図2

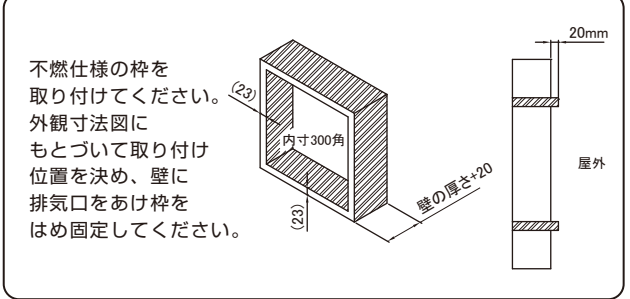
取付け方法

1 取付位置を決めてください。

調理器具の真上 80cm 位の所に取付けてください。



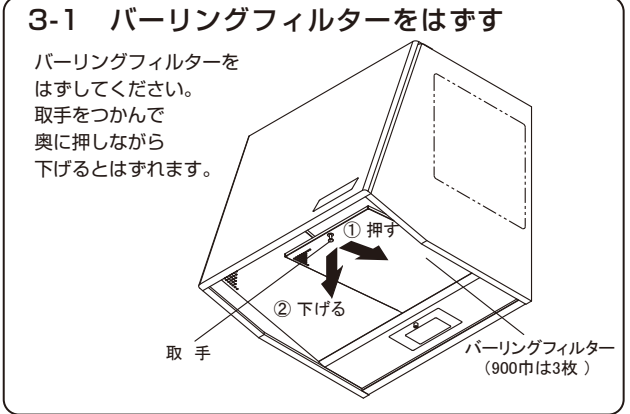
2 壁に穴をあけ不燃仕様の枠を取付けてください。



■付属品を確認してください。

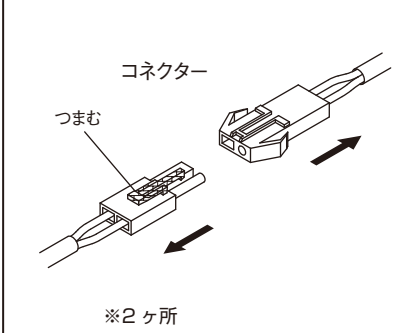
ねじセット	ねじセット	ねじセット
タッピングねじ 4×50 (6ヶ)	トラスタッピンねじ 4×10 (4ヶ)	座付丸木ねじ 4.1×22 (4ヶ)
ブッシュ (6ヶ)	うちわねじ (2ヶ)	

3 取付け前の準備をする。



3-2 コネクターを抜く

本体内部のコネクターをつまんで抜いてください。

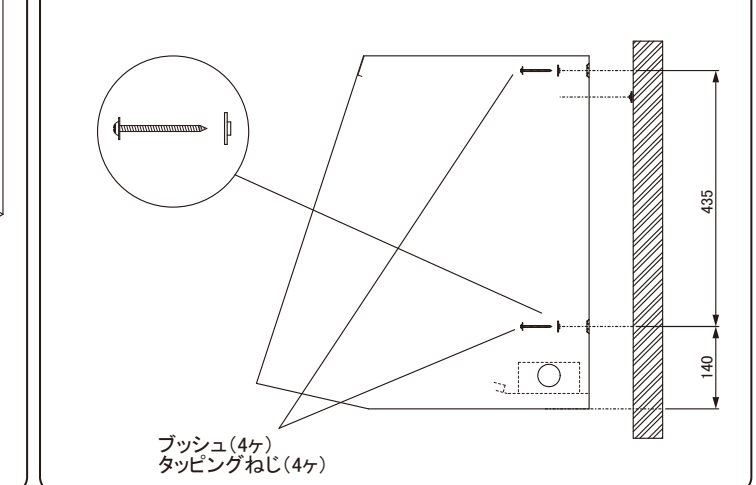


3-3 前面パネルをはずす

- 前面パネルを取り付けている左右のツマミねじ (2 本) をはずしてください。
- 前面パネルを本体から少しずらして下側に下げるとはずれます。
- レンジフード本体から換気扇フレームをはずしてください。
換気扇輸送保護板を換気扇フレームから取りはずしてください。
※換気扇輸送保護板は取付・設置後は使用しません。

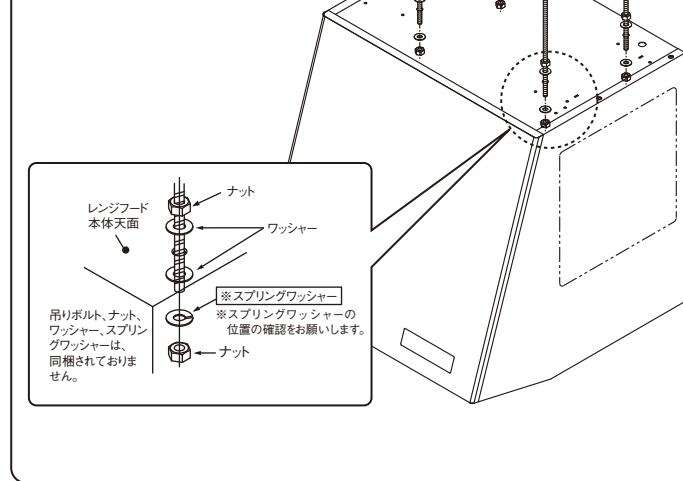
5 本体を取り付ける

- #### 5-1 壁取付の場合
- 注意** 十分強度のあるところで確実に固定する
強度不足の場合は補強する
- 本体仮留め位置をケガいたところ (2ヶ所) にタッピングねじ (4×50) とブッシュを使い、壁に締めつけてください。
 - このねじに本体を引っ掛けて、タッピングねじ (4×50) とブッシュで他 4ヶ所を固定します。
- ※本体取付のねじ止めは合計 6ヶ所です。
必ず確認してください。



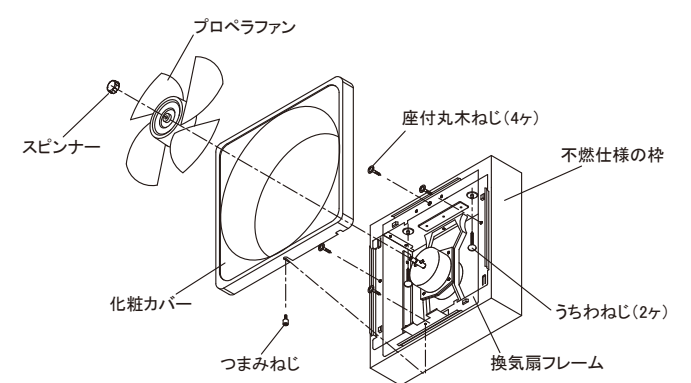
5-2 天吊りを併用する場合

- 本体の天吊り用ノックアウト (4ヶ) を打ち抜きます。
- 本体の上面の位置を決めて、上下でナットとワッシャー、スプリングワッシャーとで固定します。



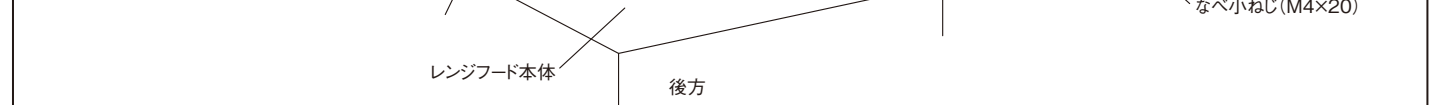
6 換気扇を取り付ける

- 換気扇フレームを不燃仕様の枠にはめこみ、フレームの内側からうちわねじ 2 本を枠の上部にしっかりと締め付けてください。
また、座付丸木ねじ (4.1×22) 4 本が使用可能な場合は、しっかりと締め付けてください。(ねじの長さが足りない場合は現地調達のねじで固定してください。)
- 化粧カバーを取り付けてください。
化粧カバーの上部フックと下部のつまみねじで固定します。
- ファンを取り付け、スピナーを十分に締め付けてください。



7 前幕板（別売）の取付け方法

- 幕板押え金具を本体内側からM4-20のねじで仮止めします。
(本体と押え金具の隙間を 3～5mm程度にします。)
- 前方から押え金具の隙間に前幕板を差込み必要な奥行き法になるように調整します。
- 幕板押え金具のねじをしっかりと締めて完了です。



8 前面パネルを取り付ける

前面パネルの上側を引掛けに差し込み、下側のツマミねじ (2 本) を締め付けてください。
前面パネル側と本体側のコネクターを接続し、パーリングフィルターを取り付けてください。

